

令和7年度 第2回土浦市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 日 時

令和7年11月7日（金）14時から

2 会 場

土浦市役所本庁舎3階301・302会議室

3 会議内容

(1) 報告事項

- ①令和7年度第1回協議会の主な意見と回答について
- ②つしまるバス（中村南・西根南地区経由、右畠地区経由）の運行状況について

(2) 協議事項

- ①つしまるバス（乙戸南地区循環）導入の進捗状況及び運行計画（案）について
- ②事業評価について
 - ・地域公共交通計画（令和6年度）の事業評価（資料4）
 - ・地域公共交通確保維持改善事業（令和6年10月～令和7年9月）の事業評価
- ③土浦市地域公共交通計画改定に向けたアンケートの実施について

4 出席者

○委員 22名（敬称略）

氏 名	組織名・役職名	当会役職	出欠
下 村 利 充	土浦市地区長連合会 顧問兼副会長	監事	出席
佐 野 光 男	土浦市まちづくり市民会議 議長	監事	出席
飯 岡 世 津 子	土浦市交通安全母の会 理事		出席
大 木 信 男	土浦市高齢者クラブ連合会 会長		出席
塚 田 哲 生	土浦市新治商工会 副会長		欠席
栗 原 孝	土浦市小中学校PTA連絡協議会 会長		出席
井 上 圭 一	土浦市手をつなぐ育成会 会長		出席
入 交 謙 一	土浦市自閉症児(者)親の会		出席
小 坂 博	土浦商工会議所 副会頭	副会長	出席
小 嶋 理 恵 子	土浦市女性団体連絡協議会		出席
岡 本 直 久	筑波大学システム情報系 教授	会長	出席
藤 澤 充 哲	東日本旅客鉄道株式会社 水戸支社企画総務部経営戦略ユニット ユニットリーダー		欠席
廣瀬 貢 司	関東鉄道株式会社 常務取締役兼自動車部長		出席
西 津 芳 則	ジェイアールバス関東株式会社 土浦支店 支店長		代理出席
金 塚 大 輔	土浦地区タクシー協同組合		欠席
横 山 恭 教	特定非営利活動(NPO)法人まちづくり活性化土浦 理事長		出席
古 賀 重 德	一般社団法人 茨城県バス協会 専務理事		出席
服 部 透	一般社団法人 茨城県ハイヤー・タクシー協会 専務理事		出席
池 田 正 人	関東鉄道株式会社 労働組合 執行委員長		出席
小 菅 達 也	関東運輸局 茨城運輸支局 首席運輸企画専門官		代理出席
柿 本 憲 治	関東運輸局 茨城運輸支局 首席運輸企画専門官		出席
伊 藤 豪 人	茨城県 政策企画部 交通政策課 課長		代理出席
針 谷 直 之	茨城県 土浦土木事務所 道路整備第二課 課長		出席
東 直 人	茨城県警察本部 土浦警察署 交通課 課長		出席
小 林 勉	土浦市役所 副市長		出席

○事務局

土浦市 都市政策部 部長
 土浦市 都市政策部 都市計画課長
 土浦市 都市政策部 都市計画課 室長
 土浦市 都市政策部 都市計画課 主幹
 土浦市 都市政策部 都市計画課 主幹

飯泉 貴史
 斎藤 仁志
 岩本 裕志
 下村 一成
 錦織 諒子

○傍聴者：2名

5 会議内容

(1) 土浦市地域公共交通活性化協議会の概要

委員からの質問・意見等なし。

(2) 報告事項

①令和7年度第1回協議会の主な意見と回答について

委員からの質問・意見等なし。

②つちまるバス（中村南・西根南地区経由、右糀地区経由）の運行状況について

(3) 協議事項

①つちまるバス（乙戸南地区循環）導入の進捗状況及び運行計画（案）について

委員：リフトつきの車椅子対応で運行開始となつたことは喜ばしい。

ガイドブック案について、予約が土浦営業所としか書いていない。将来的にはQRコードからネット予約ができるとよい。

事務局：予約時間については記載するよう対応いたします。ネット予約については今後検討していきたい。

会長：1日一件の予約とは？帰りは使えないような印象を受ける。もう少し丁寧な説明が必要では。

事務局：ガイドブックは初稿の段階でお示ししているので記載内容・方法についてはこれからブラッシュアップしていく。

委員：利用者が増えるまでは広報が重要だと思うのでしっかり宣伝してもらいたい。

事務局：運行開始式典についてのプレスや、運行開始について広報紙やホームページ掲載、対象地域へのガイドブック全戸配布を行う予定。

その他、口コミも非常に大事だと考えているので、そこは地域の方々にも協力頂きたいと考えている。

委員：つちまるバスは他の地域にも導入していく予定か。

事務局：公共交通計画では、交通不便地域9箇所に導入すると位置付けている。そのうちの3箇所目が当該路線となる。優先順位からすると、次に導入を目指す地区は並木板谷となっているが、まだ運行手法等について決まっていないのが現状。

会長：最初にスタートした中村南・西根南コースの目標値が3.7人／便、次にスタートした右糀コースが2.8人／便、今回運行開始する乙戸南地区循環が2.0人／便と目標値が下がっており、次はもっと低く設定していいというメッセージにも取られかねない。この目標は、例えば開始10年までで、それ以降増やさないとやめるよ、という様な、将来的な道筋も実はあるんだというところはどつかに書いておいたほうがいいかなという気がするがいかがか。

事務局：先行した2地区というのは、当初目標を定めておらず、現行の利用者数を次の1年でこれくらい伸ばしましょう、という目標になっている。

一方で、乙戸はこらから開始となるにあたり、実証期間3年間のうちでクリアすべき最低ラインとして、国の補助要件を準用して、1便当たり2人以上としたところ。運行開始後も、目標値を達成して終わりとすることなく、各地区で継続的に運行内容を検討しながら努力目標という形で設定していくような形がいいのかなと現時点では考えているところ。

会長：乙戸は令和10年度までが実証運行ということか。

事務局：はい。

委員：サイクル&バスライドはとてもいい取り組みだと思うので、他の地区でも増やしたらどうか。

事務局：まずは右枠で始めてみた、という状況。他の地区についても運行協議会の会長に相談しているところ。乙戸は小山田公民児童館と乙戸南公民館に、中村では三中地区公民館に設置したいと考えている。

委員：不法駐輪対策も考えもらいたい。

事務局：はい。

委員：ジョイフル本田に3台同時にバスが来ても対応できるのか。

事務局：停車時間が長くないので、そこまで並ぶことはない。乙戸のダイヤについては現在検討中。

会長：同じ時刻の方が乗継できていのでは。

事務局：ダイヤについては運行事業者と調整中。乗継はジョイフルの他荒川沖駅等での可能なので、意識して決めていきたい。

会長：乗継割引があるとより乗りやすいと思う。

車椅子で乗車できないバス停もあるのはなぜか。

事務局：道路幅員や段差等現地の状況を踏まえ、安全な乗降が確保できるところでは利用できるとしている。

会長：今日頂いた意見を反映させながら、2月に運行開始でご承認頂けますか。

委員一同：はい。

②事業評価について

委員：待合環境の整備について、バスを寄せる時に柱や雨どいなどが支障になることがあるため、事業を進める際には、バスの停めやすさを事前に事業者と調整してもらいたい。

会長：ロイヤリティ形成において、評価が次の行動を決めるという点が重要。バスが遅れずにきて目的地に行けた、また乗りたいと思ってもらうという繰り返しが必要というところの議論を深めてもらいたい。

その意味で、土浦市は長年利用者アンケートを実施し、事業者にフィードバックするというのを続けているが、タクシーについては実施しないのか。

事務局：タクシー事業者の協力も不可欠であり、よろしくお願ひしたい。

委 員：GTFS 対応や待合環境の整備でいうと、水戸京成百貨店前にデジタルサイネージがあり、動的データを流してバス案内をしているが、交通事業者各社がそれぞれ動的データ管理を行っており、その規格が統一されていないため、苦労していた。今後土浦市や他市でも導入を検討する場合、各市や各バス会社が個別にシステム開発・運用を行うと、バス会社は都度異なるプログラムを用意する必要が生じ、コストもかかるため、事業が進展しないことが懸念される。県を介するなどして、開発を含めた情報共有しながら進めてもらえるといい。

事務局：まずは水戸京成百貨店前のデジタルサイネージを見にいきたい。

会長：この内容で国に提出することによろしいか。

委員一同：はい。

③土浦市地域公共交通計画改定に向けたアンケートの実施について

会長：市民アンケート調査は年度内に終わらせるのか。のりあいタクシーは同じ時期に紙で実施するのか。

事務局：年度内には実施する。のりあいタクシーは、対象者が高齢者のため紙で実施する。また工業団地と子供の送迎に関するアンケートは WEB で行うが、回答者が重複する可能性があるため、時期はずらすが、年度内には集計を終わらせたい。

委員：子供の送迎に関するアンケートを実施頂くのはありがたい。

特に地域部活動となり、自転車では難しい遠い地区間での移動があるので、のりあいタクシーを使えればというのは分かるが、時間帯が集中するうえ、その時間まで運行しているのかなどが気になる。

また配付手法としてスクリリの活用とあるが、導入していない学校もあるかもしれないPTA 連絡協議会事務局でも配布方法を検討したい。

事務局：現状、のりあいタクシーは 65 歳以上を対象としており、運行は平日の日中のみとなっている。需要がどれくらいあるのか全く未知数であるため、今回のアンケートを通して、まずはデータを収集したい。そのうえで、実際のりあいタクシーをどこまで拡大するかというのをその先のステップになるとを考えている。

配付方法については、漏れなく届く方法をご相談させて頂きたい。

委員：部活動の地域移行となり、例えば個人種目であれば、市内各地から川口運動公園に移動するということも考えられる。その場合はのりあいタクシーというよりは、巡回バスのようなものの方がいいのかもしれない。

事務局：部活動の地域移行の話をすると、送迎はどうするのかという意見が必ず出ると聞いている。交通で解決できる課題はないのか、アンケート結果も踏まえながら教育委員会でも議論していきたい。

会長：高校にアンケートをとらないのはなぜ。

事務局：まずは市としてチャンネルのある小中学校を対象とした。

会長：公立の小中学校は基本的には徒歩圏内で、親の送迎が問題になるのは高校からではないか。

事務局：アプローチ方法も含め検討したい。

委員：工業団地の従業員の送迎バス共同運行については、やるやらないを含め、検討するための材料を集めるということだと思うが、従業員がどこの市町村から通勤しているのかも聞いた方が今後の検討に役立つのではないか。

事務局：回答する側の負担も考慮しつつ検討したい。

会長：送迎バスの時間帯についての質問があるが、社内で時刻表を作っているはずなので、そのダイヤを入手すればいいのでは。

事務局：そのように検討します。

会長：駅以外の路上で乗り降りさせているケースも聞いておいてもいいかもしれません。

企業の送迎バスで問題があればこの会議でも見過ごせないと思うので、例えば土浦駅の西口の朝の様子を定点カメラで撮るなどして状況を把握できるとよい。つくば駅では学生が朝晩調査しているようだ。

のりあいタクシーについて、自己負担が増えた場合どうするかとの質問があるが、具体的にいくらまでなら利用するかという聞き方をした方がよい。

市民アンケートの外出先の質問については、MaaS事業でビックデータを用いた解析を行うのであれば必要ないのでは。

事務局：ビックデータで何が明らかになるのか、解像度の問題もあるので、この質問は聞いておきたいと考えているが、専門家の意見も伺いたい。

会長：市民の移動の出発地と目的地、その人数がデータとして把握するための調査だと思うが、3,000人対象のアンケートで返答率を考慮すれば1,200人ぐらいしか分からぬ。ビッグデータであれば市民の半分ぐらいは取れると思うので、その数字とどっちがいいかということ。

事務局：交通手段も把握したいと考えているので、ビックデータでどこまで分かるのか確認してから決めたい。

委員：市民アンケートの移動手段の選択肢に公共ライドシェアが入っていないが、周知にもなると思うので入れた方がいい。

また、工業団地のアンケートについて、今後計画策定の中では、従業員送迎だけでなく、病院やスクールバス等の現状も把握し、路線バスに取り込めないかという観点も必要ではないかと思う。

子供の送迎のアンケートのなかで、のりあいタクシーを使うかとの質問があるが、現状の運行時間帯も記載しておくと、今後検討を進めるうえで、必要とされる時間帯の把握などに役立つかと思う。以上今後参考にしてもらいたい。

事務局：検討する。

会長：市民アンケートの中に公共交通の利用しにくい理由についての質問があるが、つくば市のアンケートに似たような質問があった。つくば市との比較ができるといい内容もあるので、参考にしてみてほしい。

事務局：アンケートはある程度同じことを、いくつかの市町村で聞いていくことも大事だと思うので、茨城県にもご協力いただきながら広域的な視点でもやれるとよい。

会長：のりあいタクシーの予約でいっぱいと聞いたがどうか。

事務局：午前中は予約が多く、2割くらいは機会損失しているが、午後は空いていると聞いている。

会長：アンケートの中に、午後は空いてるという情報を紛れ込ませるのも大事なプロモーションかもしれない。

事務局：アンケートについては頂いた意見をもとに会長と事務局で修正し、年度内に実施することでよいか。

委員一同：はい。

【その他】

事務局：次回の協議会は令和8年2月頃を予定し、運行中のつちまるバスの実績等について協議いただく予定。